

シラバス参照

年度	2025
科目名	情報リテラシー
実施時期	後期
単位数	2

分類	専門課程 メディア・コミュニケーション専攻 専門基礎科目						
科目ナンバー	MAC1141						
授業方法	講義						
概要	<p>デジタル社会を理解し、これからの生活に必要なリテラシーについて考え、ITと職業についての関わりを理解するとともに、高度情報化社会と職業、職業観などを学習します。</p> <p>情報リテラシーや情報活用能力、AIリテラシーにデータ活用能力など、様々なスキルが求められています。本講義では、データリテラシー、AIリテラシーなど様々なリテラシーを含む情報リテラシー全般を学修します。</p> <p>また、将来の情報社会を支える人材育成のために取り組まれている学校教育における情報教育についても触れる予定です。</p> <p>なお、高等学校において新課程履修者と旧課程履修者が受講する可能性があるため、受講者のスキル等に応じて講義計画を変更することもあります。</p>						
到達目標	番号	内容					
	①	インターネットとコンピュータの基礎を理解する					
	②	情報リテラシーの基本を理解する					
	③	職業とITとの関わりを理解することができる					
	④						
	⑤						
【到達目標】	DPIに基づく行動目標への対応						
ア. 知識・理解に関する目標	a. 思想、芸術、文学、言語学に関する知識の理解	b. 歴史学、考古学、地理学、文化人類学、民俗学に関する知識の理解	c. 法学、政治学、経済学、経営学に関する知識の理解	d. 社会学、教育学、心理学に関する知識の理解	e. スポーツ科学、情報科学、自然科学の基礎に関する知識の理解		
						①・②・③	
イ. 汎用的技能に関する目標	a. 文献・数学を用いた情報収集・分析の力	b. 論理的、創造的な思考力	c. プレゼンテーションや文章による表現力	d. 情報技術を活用する能力	e. 外国語の運用能力	f. 他者と協調・協働できる能力	g. 自ら内省し、計画を立てて自己研鑽できる能力
				②			③
ウ. 態度・志向性に関する目標	a. 市民社会の一員として公正な社会を作っていく姿勢		b. 地域社会の一員として地域の未来を担う姿勢		c. 多様性を認め、グローバル社会の新たな価値を創造する姿勢		
	①・②		③				
評価方法	平常評価(%)	平常評価方法	中間評価(%)	中間評価方法	期末評価(%)	期末評価方法	

	50%	講義内に実施するリアクションペーパー等で評価する	20%	講義内容の理解度を確認する小テストで評価する	30%	期末レポート
テキスト	・テキストは特に指定しない。授業毎に資料、ワークシートを配付する。また、適宜、参考書などについては、説明する。					
参考書	・富士通エフ・オー・エム:「情報リテラシー Windows 10 / Office 2019対応」, FOM出版(2021)					
講義計画 及び課題	第1回	オリエンテーション, 情報リテラシーとは 【課題】講義で行った範囲の復習と情報関連で気になるニュースを調べる				
	第2回	現代における職業, 情報を扱う職種 【課題】講義の復習				
	第3回	情報に関連する資格と求められるスキル 【課題】講義の復習				
	第4回	情報にまつわる法制度と情報倫理 【課題】講義の復習				
	第5回	知的財産権, オンラインと著作権 【課題】講義の復習				
	第6回	情報リテラシー 【課題】講義の復習				
	第7回	情報モラル 【課題】講義の復習				
	第8回	情報セキュリティ 【課題】講義の復習				
	第9回	AIとは何か 【課題】講義の復習				
	第10回	AIリテラシー 【課題】講義の復習				
	第11回	AIとシンギュラリティ 【課題】講義の復習				
	第12回	情報教育とデータリテラシー 【課題】講義の復習				
	第13回	情報を伝えるとは? 【課題】講義の復習				
	第14回	アルゴリズムとは何か 【課題】講義の復習				
	第15回	まとめ 【課題】レポートの提出				
オフィスアワー (連絡先等も含む)	月曜3時間目。連絡先等については、講義中に知らせる					
他所属 (非常勤講師のみ記入)						
授業担当者の 実務経験有無						
備考	授業実施形態: 対面					
参考URL						
画像						
ファイル						
更新日付	2025/03/28 14:21					